

メッセージ 5

命の道 主の回復の道

聖書：マタイ7:13-14． コリント3:6． 啓22:1-2

．主の回復の道は命の道です。わたしたちは、主の回復における命の内在的な本質を知る必要があります 詩16:11．エレミヤ21:8．ヨハネ1:4．10:10後半．14:6．コリント15:45後半．ローマ8:2, 10, 6, 11：

- A．三一の神の内在的な本質は、神聖な命です。すなわち、父なる神は命の源であり(ヨハネ5:26)、子なる神は命の具体化であり(1:4)、霊なる神は命の流れです(4:14後半．7:38-39前半)。
- B．新エルサレムの内在的な本質は、神聖な命です。すなわち、父なる神は命の光であり(啓21:23．22:5)、子なる神は命の木であり(2節)、霊なる神は命の川です(1節)。
- C．神は召会を建造して、キリストの花嫁を備え、新エルサレムを建造します。それは、神聖な命、復活の命、すなわち、流れ出て、造り変え、建造する命によってです 創2:22．ヨハネ19:34．詩36:8-9。

．神の民が日常生活で神と交わり、また互いに交わる唯一の道は、神聖な性質の中を流れる神聖な命です 啓21:21後半．22:1-2．ヨハネ1:3：

- A．聖なる都の大通りは純金であり、金は神聖な性質を象徴します。そして命の水の川が大通りの中央を流れています 啓21:21後半．22:1。
- B．神聖な命が流れる所には、聖なる道としての神聖な性質があり、そこを神の民は歩きます。そして神聖な性質の聖なる道がある所には、神聖な命が流れています ペテロ1:4．ヨハネ7:38-39。
- C．御座につながり、御座から出ている大通りは、「交わりの大通り」です。神聖な交わりは、神を彼の贖われたすべての民へともたらし、彼らを彼らの御座としての神ご自身へともたらし、彼らの内側に彼の金の行政があるようにさせます 啓21:18後半．22:1-2, 21:21後半．参照、エゼキエル1:22, 26．列王上10:18。
- D．わたしたちは神の神聖な性質の中を歩き、行動する時、神の金の行政の下へともたらされて、命の流れと命の供給を享受します 啓22:1-2。

．わたしたちは、命の木の原則、すなわち、依存の原則にしたがって生きるべきであって、善悪知識の木の前、すなわち、独立の原則にしたがって生きるべきではありません 創2:9, 17．ローマ8:6。

- A．神が命の木によって表徴されるわたしたちの食物であるということは、わたしたちが絶えず神に依存しなければならないことを意味します。知識の木は独立を示しています。
- B．知識や宗教の意味することは、神の生ける臨在なしに良い人になり、良い事を行ない、神を礼拝し、神のために働くことです ヨハネ5:39-40．15:5後半。

C . 神の目に、最大の罪は独立です。独立とは、霊的な絶縁体であって、わたしたちを神の命から断絶させます エペソ4:18。

D . わたしたちは絶えず主に依存し、絶えず神との直接的な接触の中に生きることを学ばなければなりません コリント1:12 . ヘブル11:8 . マタイ6:28 . 参照、列王上7:17-19 . 雅8:5前半 . 歴代下16:12 . イザヤ50:10-11。

. わたしたちは主に奉仕することにおいて、わたしたちの天然の熱心さ、天然の力、天然の能力を拒絶しなければなりません。わたしたちの奉仕は、わたしたちから流れ出る命でなければならず、他の人たちに対する命の供給とならなければなりません ヨハネ7:38 . コリント3:6 . ヨハネ5:16前半 :

A . わたしたちは神の命の火をもって、霊の中で燃えていなければなりません。わたしたちは異火をもって奉仕するべきではありません。異火とは、天然の熱心さを表徴し、それは十字架によって対処されておらず、また復活の中にありません 出3:2 . ルカ12:49-50 . ローマ12:11 . レビ10:1 :

1 . 祭司の奉仕における異火、でしゃばりの罪は、神の御前に死をもたらします 9:24 . 10:1-2。

2 . 異火をささげることは、酒を飲むことと関係があったのかもしれませんが。酒を飲むことは、この世的な、天然の、物質の事物を過度に享受することを表徴します 8-9節。

3 . 祭司は酒に酔う時、聖を識別する能力を失い、神の民に教えることができなくなります 10-11節。

B . わたしたちの天然の力と能力は、十字架によって対処されて、主に対するわたしたちの奉仕のために、復活の中で有用になる必要があります ピリピ3:3 :

1 . モーセは神によって四十年間わきへ置かれた後、神の導きにしがって神に仕えることと、神に信頼することを学びました 出2:14-15 . 使徒7:22-36 . ヘブル11:28。

2 . ペテロは完全に失敗した後、信仰によって、へりくだりをもって、兄弟たちに仕えることを学びました ルカ22:32-33 . ヨハネ18:15-18, 25-27 . マタイ26:69-75 . ペテロ5:5-6。

. キリストは王国の憲法の発布において、神の御前での人の生活と働きについて、二つの道の可能性を示しました マタイ7:13-14, 21-27 :

A . 崩壊に至る幅広い道は、この世の体系にしがっており、天然の味わいを満足させ、群衆を得、人の業績を維持し、人の事業を達成します マタイ13:31-33 . 啓2:13, 20 . 17:4-5。

B . 命に至る細い道は、神聖な規則にしがっており、霊的な要求を満たして、神の選びの民をもたらす、イエス・キリストの証しを担い、神のエコノミーを遂行して、キリストのからだを建造します ローマ1:9 . ヘブル11:5-6 . 啓1:1-2, 9-10。

C . 命の中の生ける褒賞へと至る道は、この「道」です(使徒9:2 . 19:9, 23 . 22:4 . 24:22)。すなわち、真理の道、真っすぐな道、義の道(ペテロ2:2, 15, 21)、平安の

道(ルカ1:79 . ローマ3:17)、救いの道(使徒16:17)、神の道(マタイ22:16 . 使徒18:26)、主の道(ヨハネ1:23 . 使徒18:25)です。それは異端であると中傷される道です(24:14)。

D . 神の定められた道は、言い表すことのできない主の命と務めの模範にしたがって、常に狭くて細い生活と働きとを持つことです　ヨハネ5:19 . 4:34 . 17:4 . 14:10, 24 . 5:30 . 7:6, 18 :

1 . 主の回復において、わたしたちは霊の中で歩かなければなりません。霊の中で歩くことは、わたしたちを制限し、わたしたちに正常なクリスチャン生活を過ごさせ、わたしたちをバイタルで健康な信者にします　ローマ8:4 . ガラテヤ5:16, 22-23 . テサロニケ5:16-18。

2 . わたしたちは、測りなわの神、統治する神がわたしたちに割り当ててくださった尺度の度量にしたがって、わたしたちの労苦において自分自身を制限することを学ばなければなりません　コリント10:13-14 . ヨハネ15:5 . 使徒20:19-20, 31。